

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	文学	担当教員	玉田沙織		
学年学科	2 年次 学科	後期	選択	2 単位	
学習・教育目標	(A-1) 80% (C-1) 20%		JABEE 基準 1 (1) : (a) (f)		
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 世界各国の歴史、文化、風土、習慣を理解し、他者・他国の立場を尊重できる、広い視野に基づく倫理的判断力を養うために、その大前提となる自国の歴史・文化・風土に対する理解力を養う。併せて、自国文化の礎となった古典知を自ら繙く能力を養うために、前近代の表記システムである変体仮名を解読する基礎的能力を養う。 取り上げる作品は、平安時代に成立して以来現代に至るまで読み継がれ、翻訳も多い『源氏物語』である。		<b>成績評価の方法：</b> 期末試験 100 点＋課題提出 100 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行う。  <b>達成度評価の基準：</b> 期末試験の正答レベルと課題の評価が、基準の 6 割以上に達していること。 ①日本の歴史、文化、習慣、風土等の特色を理解できている。 ②変体仮名の基礎的な解読方法を習得できている。 ③自分の考えを適確に表現することができる。			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 授業は、影印資料を用いて変体仮名の解読を行った上で、該当箇所の物語場面と作品特徴の解説を行う。変体仮名の習得は反復練習が鍵である。練習は授業時間内にも行うが、資料は前週にあらかじめ配ることとする。資料には目を通した上で授業に臨んでほしい。					
<b>教科書および参考書：</b> 教員が作成したプリントを教科書とする。プリントは、『源氏物語』大島本の影印を掲載したもののほか、該当箇所の活字、現代語訳、そして場面や作品の理解に必要な関連資料を載せたものを用意する。					
授業の概要と予定：後期			教室外学修		
第 1 回：ガイダンス・前近代の遺産「古典籍」と変体仮名					
第 2 回：『源氏物語』の粗筋と登場人物			予習：第 2 回影印プリント		
第 3 回：『源氏物語』の思想Ⅰ（宿世観）			予習：第 3 回影印プリント		
第 4 回：『源氏物語』の思想Ⅱ（道德観）			予習：第 4 回影印プリント		
第 5 回：『源氏物語』の思想Ⅲ（出家観）			予習：第 5 回影印プリント		
第 6 回：『源氏物語』の思想Ⅳ（教育観）			予習：第 6 回影印プリント		
第 7 回：物語・日記・和歌作者としての紫式部			予習：第 7 回影印プリント		
第 8 回：『源氏物語』の引用Ⅰ（若菜下巻の和歌・物語）			予習：第 8 回影印プリント		
第 9 回：『源氏物語』の引用Ⅱ（須磨巻の漢詩・歴史）			予習：第 9 回影印プリント		
第 10 回：成長する物語（『源氏物語』の異本・散逸巻・補作巻）			予習：第 10 回影印プリント		
第 11 回：文化史の中の『源氏物語』Ⅰ（歌人による受容）			予習：第 11 回影印プリント		
第 12 回：文化史の中の『源氏物語』Ⅱ（中世武家による受容）			予習：第 12 回影印プリント		
第 13 回：文化史の中の『源氏物語』Ⅲ（絵画）			予習：第 13 回影印プリント		
第 14 回：文化史の中の『源氏物語』Ⅳ（映画）			予習：第 14 回影印プリント		
第 15 回：世界文学としての『源氏物語』			予習：英訳『源氏物語』プリント		
期末試験			—		
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）			—		